

あらゆる事態に備える！  
しんこうじょうとうそう

## 11 身広長等相

月月に月見る月は多けれど  
月見る月はこの月の月

今年の中秋の名月は九月八日です。真ん丸なお月様をみて幾人の日の心が癒されたことでしょうか。きつと、お釈迦様の時代のインドでも、月を愛でる文化はあったのでしょうか。



身広長等相とは、仏様が手を広げると、縦横すべて同じ長さになる。つまり、円ということを表しています。古代の人々が、仏様のお姿は月が満つるまんまるのようだと見たのかも知れません。円とは満ちている、角がない、何にでも対応できる形としてあらわされます。お坊さんは性格がまるいでしょうと言われることがたまにあります。いえいえ、そんなこととはありません。むしろ、言われれば言われるほど自分の角が見えてきて、ごつごつしていることがよくわかります。表

姿はいかに立派に装っていても、心のうちは角が生えていることに気づかされるのが仏法です。

しかし、仏の体は円陣体系。そんな私でも対応できるお姿で、抱きしめて下さりませ。

子供100人いねば、  
仏1人違いがかり  
集団行動できない  
子も、決して悪い子  
ではないことを。  
知った夏でした。  
若住仏

# 仏様の三十二相

仏様には32の特徴があります。仏様のやさしさを少しずつご紹介です。

仏様はパンチパーマ？  
もうじょうこうそう

## 12 毛上向相

毛上向相とは、仏様の頭の毛が右に巻いている（螺旋）ことを指します。



右に巻くという事は道理に即しているという事です。私の大の苦手な英語の話になりますが、英語で右を 'right' と言います。この 'right' には、正しいという意味もあつたことを思い出してください。これは、時計の針が右回りなのと関係しています。機械式の時計がまだない時代は、主に日時計を用いていました。日時計の影は右回りです。このことから、右に回ることが正しいと 'right' とつけられたようです。

仏教においても、同じ影響を受けています。インドでは、右手が聖を表し、左手が不浄を表します。敬う相手には、右に三回まわり、右肩を出して膝間づきませ。

右に巻く仏様の髪の毛は、仏教の教えが道理に即していることを表しています。仏教は決して不思議な事を語っているのではないのです。

